

ボランティア活動参加が大学生にもたらす
変化に関する社会学的研究

A sociological study about the influence of participation
in volunteer activities on university students' lives

コース 社会学

学生氏名 奥田 展大

キーワード： 大学生 ボランティア活動

Key Words： (university student) (volunteer activity)

本論文は、大学生のボランティア活動への参加経験が、大学生のその後の生活にどのような変化をもたらしているかを、活動終了後の人間関係・学業での選択・キャリア意識・新たなボランティア活動への興味関心に焦点をあてて、質問紙調査の分析を通して明らかにしようとしたものである。

大学生のボランティア活動に関する先行研究では、ボランティア活動参加経験がその後の生活に一定の影響を及ぼすことが示されてきた。だが、ボランティア活動への参加形態の違いや活動への主観的意味づけの違いによって、どのように異なる影響がもたらされるかについてはまだあまり明らかにされていない。そこで、本論文では、ボランティア活動への参加形態や活動中の行動、およびボランティア活動への主観的意味づけをそれぞれいくつかの側面に区別し、それぞれの側面が上記4点に関してどのような影響を及ぼすかを分析した。

研究方法は、質問紙調査を用いた。関西地域に所在する大学のボランティア団体に所属する大学生を中心として、222名の大学生から回答を得た。回答結果のクロス集計に基づいて、分析を行った。

分析の結果、ボランティア活動中にグループ活動を行ったり、責任ある立場についたりしたなどして、他の参加者との接触が多かった人ほど、活動終了後の人間関係が広がり、将来のボランティア活動への関心も高められていることが明らかになった。また、ボランティア活動を通じて自分が成長したと感じた人ほど、学業や進路選択においてボランティア活動の影響を大きく受けていることが判明した。

結論として、単にボランティア活動に参加することが大学生の生活に変化をもたらすのではなく、活動の形態や活動への主観的意味づけの違いによって、ボランティア活動の影響は異なった側面において現れることが明らかとなった。